

雑誌掲載論文をさがす

普段、行き当たりばったりの検索になっていませんか？

必要な論文をスマートに入手するコツを、「さがす→入手する→管理する」の各ステップで説明します。

ステップ1 論文をさがす

・適切なデータベースを選ぶ

日本語論文を探すなら CiNii Articles や医中誌 Web、英語論文なら MEDLINE や CINAHL といったように、適切なデータベースを選びましょう。保健学図書室 Web サイトや、名古屋大学附属図書館 Web サイトからアクセスできます。データベースごとに収録対象や利用条件は異なるので、詳しくは「文献検索ガイド」（保健学図書室 Web サイトに掲載）を参照してください。

・適切なキーワードを選ぶ

調べたいテーマを表す言葉は一つとは限りません。同義語・類義語も考えてみましょう。

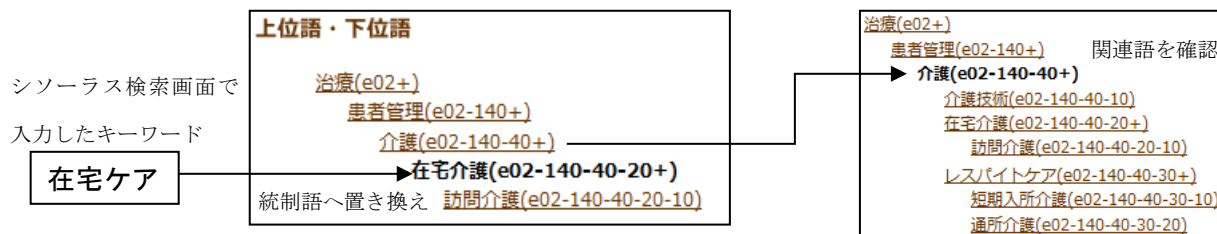
入力したキーワードで期待した結果が出なかった場合は、キーワードを見直しましょう。

結果が多すぎる→もっと専門的・限定的な言葉を使う、キーワードを増やす

ヒットしない→広い意味の言葉を使う、キーワードを減らしたり、分解したりしてみる


・シソーラスを使って検索する（医中誌 Web / MEDLINE / CINAHL）


シソーラスとは、言葉の類似関係や階層関係をあらわした辞書のことです。データベースのシソーラス機能を利用すると、入力したキーワードがデータベースの用意したキーワード（統制語）に置き換えられるので、より適切な検索結果を得られる可能性があります。また、関連する言葉が図で表示され、より適切なキーワードを見つけることができます。（図は医中誌 Web の場合）




個々の論文にはデータベースごとに複数のキーワードが与えられるので、関心のある論文をひとつ見つけたら、その論文に与えられているキーワードで再検索する方法も有効です。

シソーラスへのアクセス方法

医中誌 Web の場合  シソーラス参照 をクリック

MEDLINE (EBSCOhost) の場合  MeSH をクリック

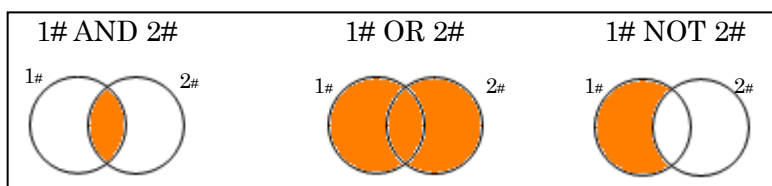
CINAHL (EBSCOhost) の場合  CINAHL Headings をクリック

* キーワードを入力すると自動的にシソーラスの同義語も一緒に検索する機能を持つデータベースもあります。

* 最新の論文は、収録からキーワード付与までタイムラグがあるため、シソーラスを使った検索ではヒットしません。漏れが無いように通常のキーワード検索も併用しましょう。

・論理演算を活用する

複数のキーワードで検索する場合は、論理演算（キーワードの組み合わせ）を使い分けると効果的です。入力方法はデータベースで異なります。



AND 検索 単語間にスペースを入力して行うことが多い
OR 検索 漏れが少ない
NOT検索 ノイズが少ない
←オレンジ色の部分が検索結果

・引用関係からさがす

自分が興味を抱いた論文が手元があれば、引用関係をたどって関連する論文を増やしていくこともできます。論文末尾には、その論文が引用した論文のリストが掲載されています。また、データベースによっては引用した論文へのリンク機能があったり、逆に手元の論文を引用した論文へのリンク機能が付いていたりする場合があります。


ステップ2 論文を入手する

・本文へのリンクアイコンから本文を入手する

データベースの検索結果に表示されるアイコンから、本文を見られる場合があります。



・NULink を利用する

もし本文のアイコンがなければ、 をクリックしましょう。NULink は論文本文の入手をナビゲートしてくれるシステムです。電子ジャーナルが見られる場合は電子ジャーナル本文へ案内します。電子ジャーナルが無い場合は、「名古屋大学蔵書検索」をクリックすると、論文が掲載されている雑誌の所蔵情報を調べることができます。そのほか、他大学の蔵書検索や文献の取り寄せ依頼画面へのリンクが用意されています。

ステップ3 検索結果を管理する

・検索履歴や検索結果を保存する

多くのデータベースには検索結果や検索履歴を保存する機能があります。データベースに個人アカウントを作ってそこへ検索結果などを保存しておけば、後日再ログインした時に同じ内容を検索することなく参照することができます。また、検索履歴を保存しておいて、期間をおいて同じ条件で検索することで、最初に検索した時には見つからなかった新しい論文を見つけられるかもしれません。

・引用文献リストを作る

検索結果、つまり論文の書誌情報を利用して、自分のレポートや論文の末尾に付ける引用文献リストを作成することもできます。多くのデータベースには検索結果をデータで出力する機能があります。また、文献管理ツールを使って書誌情報を管理し、文献リストを作成することもできます。名古屋大学ではEndNote Web が利用でき、CiNii Articles、医中誌 Web、EBSCOhost (MEDLINE/ CINAHL) などから直接書誌情報を保存できます。（詳しくはこちら→「EndNote basic サポート」ページ [URL: http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/enw/support/](http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/enw/support/)）

注意: 終了時は必ずログアウト!

データベースに「終了」や「ログアウト」ボタンがある場合は、必ずボタンを押してログアウトしてからブラウザを閉じてください。同時アクセス数に上限があるデータベースは次に使いたい人が使えなくなってしまう。